

上越市議会が市内4か所で議会報告会を開催

上越市議会は12日から16日まで、市民プラザや「はーとぴあ中郷」など4会場で議会報告会・意見交換会を開催しました。今号では市民プラザと安塚コミュニティプラザでの様子を紹介します。

市民プラザ会場での参加者は8人。まず杉田副議長が3月議会の概要を報告。その後、総務常任委員会など市議会の4つの常任委員会の代表が、それぞれの委員会の審査の模様を報告しました。左の写真は総務常任委員長報告の様子です。

参加者からは、「5名の移住インフルエンサーは既に決まっているのか」「上越斎場の広い控室は何のためにあるか知っているか。葬儀ができるようにと造ったものだ。十分に使われる方策を」「春日山は上越の宝。しかし、おみやげ屋がない。食べるものもない。春日山荘跡地



参加者からは、「第6次総合計画はコストの削減、効率化の観点からコンパクトシティをめざしているが、ここには大事な第三セクターなどもある。地域をいじめないでほしい」「水族館は入館者がどれだけ入ったかよりも、建設(と運営)の効果が市民にどれだけ行きわたっているかが問題だ。そういう観点で議会活動を」「上越市は民生委員の欠員が県内自治体の中でも多いと聞く。欠員の理由をどう考えるか」「鳥獣被害のひとつにサギ被害もある。今後ともサギ対策をしてほしい」などの声が寄せられました。



この写真は柿崎区雁海にある放射線モニタリングポストです。昨年、共産党議員団などが指摘し、道路側からも「電光表示」がよく見えるようになりました。

に、観光客が利用できる施設はつくれないものか「冬の通学路で、車道に出ざるをえない子どもたちがいる。少なくとも子どもらの通る歩道だけでも(しっかりと除雪し)、安全を確保してほしい」などの声が出されました。

安塚会場の参加者は12人でした。武藤議長が3月議会の概要報告後、各常任委員会の代表が同議会での委員会の審査の内容について報告し、参加者に質問や意見を求めました。下の写真は橋爪総務常任委員会副委員長が参加者からの質問に答えているところです。



たり行政に伝えたりするなどの取組を行うことになっています。

上越民商が初の「商工フェス」

12日、上越民主商工会主催の「商工フェス」が行われ、党市議団のメンバーも参加してきました。会場となった民商会館前広場には、たこ焼きやもつ煮などを販売するお店が並び、会館の3階では音楽ライブなども行われました。この日は好天に恵まれイベント日和、初めてにもかかわらず、多くの業者の皆さんや家族などが訪れて、楽しみました。

同会が「商工フェス」に取り組むのは初めてということでしたが、自分たちの仕事や民商を知ってもらいたいという新しい試みとして注目されました。何よりも、会員の皆さんが明るく、元気に取り組んでいる姿が良かったですね。

写真は橋爪団長が上野上越民商会長から建築用機械の説明を受けているところです。橋爪団長は、「民商の皆さんの頑張りに感動した」とのべていました。



日本共産党上越市議員団ニュース

No.626 2019年5月19日

連絡先 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)